



【写真は元旦に校庭から撮影した初日の出です】

あけましておめでとうございます

旧年中は本校教育活動に格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
おかげさまで本校教育活動のより一層の充実を図ることができました。
これもひとえに皆様のご協力のおかげと深く感謝しております。
本年も本校職員一丸となり教育活動の充実を図る所存です。
今後も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

佐野市立田沼東中学校 職員一同



◇冬休み明けの学校生活スタート

冬休みが明け、学校に生徒たちの元気な声が戻ってきました。例年より長いとはいえ2週間少々の短い冬休み、年末年始は普段とは違う生活リズムで過ごすことが多く、生徒たちの休み明けの学校生活には、少々心配がありました。多くの生徒はしっかり気持ちを切り替え登校することができたようです。

また、新型コロナウイルス感染症についても、大きな影響はなく、通常どおりの学校生活がスタートできました。そして明日からの第2学年スキー宿泊学習も、3年ぶりに計画どおり実施できる見通しとなりました。

ただ、依然としてコロナ第8波の渦中にあります。引き続き感染症対策の徹底を図っていく考えですので、保護者の皆様にもご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、これから3月末までの学校生活は、各学年のまとめの大切な時期となります。そこで、生徒自身が自らの成長を自覚し、卒業あるいは進級に向けて目標や見通しをもって生活できるよう指導していく考えです。

◇休み明け、本日1月10日(火)の全校集会校長講話の内容を紹介します。

〈校長講話要旨〉

明けましておめでとうございます。生徒の皆さんは、希望に満ちた2023年をスタートさせようと、新しい年にふさわしい清々しい笑顔で、今朝を迎えたことと思います。

さて、今年のお正月は3年ぶりに行動制限のないお正月でした。そのため、1・2年生の皆さんは、家族と外出したり、家庭で家族や親戚の方との団らんを楽しんだりするなど、穏やかにこの2週間を過ごした人が多かったと思います。

一方、3年生は入学試験直前でお正月気分ではなかったという人がほとんどだったと思います。そして実際に私立高校の入学試験を経験し大変緊張したという人も多かったと思います。でもそれは自分が決めた進路に向けて第一歩を踏み出す大切な時間だったと思います。

【正月は、気持ちを新たに、目標を立て、決意を新たにする節目の時】

ところで、お正月のあいさつの言葉「明けましておめでとうございます」は、元は正月に年神様を迎える言葉だったそうです。この言葉に限らず正月の様々な習慣や行事は、日本人が昔から長く変えることなく大切にしてきたものです。そして日本以外の国でも、様々な行事や習慣が大切にされ、受け継がれています。

ではなぜ私たちはこのように正月を特別のものと考えてきたのでしょうか。

それは、新しい年を迎え、人は誰でも去年より今年をよりよくしたいという向上心をもつからです。正月はその向上心を行動に移すよい節目となります。どの人にとっても、気持ちを新しくリセットして、目標を立て、決意を新たにするという節目なのです。

そのため、今年をどう過ごすのか、夢や抱負、目標を考え「ゴールを明確にする」ことが重要です。そして、その夢や目標をいつまでに達成するのか、何をしたらよいかを考え、やるべきことをまとめる必要もあります。

【自分の可能性を信じ、自分の長所を生かし、一つ一つの取組の積み重ねを大切に】

とはいえ、あまり気負わず、もし計画の修正が必要となれば、自分のペースに合わせて直せばいいのです。自分の可能性を信じ、自分の長所を生かし、一つ一つの取組の積み重ねを大切に、夢に向かって進むことです。

【次の学年の0学期を意識して】

ここから3月までは、1年生は第2学年0学期、2年生は第3学年0学期、3年生は卒業と新たな人生のスタート地点という意識をもって3か月間を過ごしてください。皆さんの頑張りで、今年1年が充実した素晴らしい年となることを期待します。